

- 対馬島は、日本で3番目に大きく、佐渡 854 平方キロメートル、奄美大島 712 平方キロメートルに次いで 696 平方キロメートル（属島を含めると 709 平方キロメートル）を有する。（沖縄、北方領土を除く）
- 人口は、31,468 人（平成 27 年国勢調査速報）であり、年々減少傾向（昭和 35 年の国勢調査に比して 45.2%）が続いている。世帯数も、平成 12 年国勢調査以降減少傾向である。
- 産業別就業人口については、第一次産業が全体の 21.6% を占め、特に水産業のウェイトがそのうちの 77.4% と大きい。（平成 22 年国勢調査）
- 島内総生産は平成 24 年で約 995 億円と、県全体の 2.3% を占めている。

第1節 面積

対馬市の面積は 708.63 平方キロメートルで、県全体の面積（4,132.32 平方キロメートル）の 17.1% を占めている。

対馬市は、九州では大分県佐伯市、宮崎県延岡市に次いで 3 番目に広く、壱岐市（139.42 平方キロメートル）の約 5.1 倍の広さである。

第4-1表 対馬の面積と人口

(平 26.10.1)

	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)
対馬市計	708.63	31,468	44.4
県計	4,132.32	1,377,780	333.4

国土地理院調・人口は平 27 国勢調査速報

参考：(平 16.4.1)

	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)
厳原町	175.60	15,485	88.2
美津島町	120.07	8,423	70.2
豊玉町	75.22	4,705	62.5
峰町	72.44	2,897	40.0
上県町	157.73	4,494	28.5
上対馬町	107.60	5,226	48.6
対馬市計	708.66	41,230	58.2

国土地理院調・人口は平 12 国勢調査

第2節 人口及び世帯数

1. 人口の変遷

対馬の人口は、藩政期には3万人、明治末期で5万人、そして昭和15年で5万7千人、その後、昭和35年までは増え続け、ピーク時7万人近くまでにもなった。その後、日本経済の高度成長に対応して人口は減少しはじめ、特に昭和48年の東邦亜鈴（株）対馬鉱業所の閉山の影響が大変大きかったといえる。

平成27年10月1日現在の対馬の人口は、31,468人（国勢調査速報）であり、県の人口1,377,780人の2.3%を占めている。これを平成22年国勢調査人口と比較すると2,939人（8.5%）減少しており、昭和35年の国勢調査（69,556人）以来減少の一途をたどっている。

なお、平成22年に法律の失効期限が6年間延長された過疎地域自立促進特別措置法において、対馬市は法適用過疎地域となっている。

2. 世帯数

世帯数は、平成27年10月1日現在で、13,393世帯（国勢調査速報）である。昭和35年の国勢調査以来、人口は減少の一途をたどっているものの、世帯数は、昭和40年の国勢調査以来おおむね15,000世帯強の世帯数で推移していたが、平成22年は14,000世帯を下回った。また、一世帯当たりの人口も減少しており、核家族化が進行している。なお、昭和50年の世帯数の減少については、昭和48年12月末の東邦亜鈴（株）対馬鉱業所の閉鎖による関係者1,600人の島外転出の影響によるものである。

第4-2表 人口・世帯数の推移

年	人口	世帯数	一世帯当たり人口	県人口
大正 14	55,049	11,654	4.7	1,163,945
昭和 5	54,562	10,629	5.1	1,233,362
10	56,137	10,747	5.2	1,296,883
15	56,568	11,220	5.0	1,370,063
21	53,137	10,808	4.9	1,417,977
25	60,376	11,918	5.1	1,645,492
30	67,140	13,157	5.1	1,747,596
35	69,556	14,472	4.8	1,760,421
40	65,304	15,025	4.3	1,641,245
45	58,672	15,147	3.9	1,570,245
50	52,472	14,760	3.6	1,571,912
55	50,810	15,176	3.3	1,590,564
60	48,875	15,232	3.2	1,593,968
平成 2	46,064	15,164	3.0	1,562,959
7	43,513	15,169	2.9	1,544,934
12	41,230	15,038	2.7	1,516,523
17	38,481	14,710	2.6	1,478,632
22	34,407	13,813	2.5	1,426,779
27	31,468	13,393	2.3	1,377,780

国勢調査（平成27は速報値）

（参考）江戸時代の人口は32,725人（元禄12年、西暦1699年）が最高との記録がある。
（新対馬島誌より）

第4-3表 人口の状況

（単位：人）

年 町名	昭和 60	平成 2	平成 7	平成 12	平成 17	平成 22
厳原町	18,044	17,343	16,367	15,485	14,417	12,684
美津島町	9,238	8,905	8,607	8,423	8,216	7,841
豊玉町	5,402	5,281	5,035	4,705	4,259	3,746
峰町	3,805	3,402	3,119	2,897	2,575	2,296
上県町	5,719	5,102	4,743	4,494	4,092	3,505
上対馬町	6,667	6,031	5,642	5,226	4,922	4,335
(A) 計	48,875	46,064	43,513	41,230	38,481	34,407
指数	100.0	94.2	89.0	84.4	78.7	70.4
(B) 県計	1,593,968	1,562,959	1,544,934	1,516,523	1,478,632	1,426,779
指数	100.0	98.1	96.9	95.1	92.8	89.5
(A)/(B)	3.1	2.9	2.8	2.7	2.6	2.4

国勢調査

第4-4表 世帯数の状況

(単位：世帯)

年 町名	昭和 60	平成 2	平成 7	平成 12	平成 17	平成 22
巖原町	6,185	6,196	6,185	6,094	5,836	5,411
美津島町	2,604	2,633	2,686	2,765	2,868	2,811
豊玉町	1,480	1,588	1,556	1,568	1,530	1,447
峰町	1,135	1,093	1,068	1,026	984	924
上県町	1,769	1,718	1,739	1,699	1,631	1,460
上対馬町	2,059	1,936	1,935	1,886	1,861	1,760
(A) 計	15,232	15,164	15,169	15,038	14,710	13,813
指数	100.0	99.6	99.6	98.7	96.6	90.7
(B) 県計	489,492	503,741	529,872	544,878	553,620	558,660
指数	100.0	102.9	108.2	111.3	113.1	114.1
(A)/(B)	3.1	3.0	2.9	2.8	2.7	2.5

国勢調査

3. 人口の分布状況（集落の形成状況）

対馬は、全体の 89%が山林であるうえ標高 200~300mの多くのしゅん険な山々が海岸まで迫る地形となっている。このため、海岸沿いのごくわずかな平地に数多くの集落が点在する形態となっている。

第4-5表 地区別人口・世帯数

(平 27. 12. 31)

人 口			世 帯 数
男	女	計	
15,964 人	16,555 人	32,519 人	15,246 世帯

地区名	世帯数	人口 (男)	人口 (女)	人口計	地区名	世帯数	人口 (男)	人口 (女)	人口計
厳原町					美津島町				
曲	149	142	129	271	焼松	22	17	27	44
小浦	321	393	377	770	上の町第一	159	177	203	380
南室	124	119	132	251	上の町第二	146	171	179	350
阿須	111	121	104	225	特別養護老	35	6	29	35
栈原	533	483	378	861	中の町	95	110	106	216
宮谷	482	497	437	934	老人ホーム	58	17	41	58
日吉	279	285	315	600	日向	45	43	56	99
天道茂	149	136	160	296	本町	78	83	109	192
中村	133	103	120	223	住吉	15	13	20	33
今屋敷	248	218	246	464	日の出	42	37	39	76
田渕	346	254	329	583	宮の下	18	14	18	32
大手端	206	191	221	412	瀬原第一	177	215	233	448
国分	231	193	229	422	瀬原第二	156	187	193	380
久田道	195	163	176	339	樽ヶ浜	141	155	144	299
久田道西里	96	92	96	188	大浜	102	134	118	252
久田	466	579	515	1,094	高浜	130	175	175	350
白子	458	530	547	1,077	西高浜	227	271	265	536
堀田	30	37	23	60	根緒	122	129	148	277
尾浦	26	26	21	47	洲藻	67	81	92	173
安神	61	59	16	75	箕形	23	32	32	64
久和	61	49	65	114	吹崎	28	24	23	47
与良内院	47	58	51	109	加志	36	45	46	91
豆酸内院	16	13	17	30	今里	81	100	108	208
内山	37	46	41	87	尾崎	73	98	110	208
桃木	10	6	9	15	昼ヶ浦	35	42	48	90
豆酸上町	68	51	69	120	黒瀬	28	29	32	61
豆酸中町	211	212	202	414	竹敷	137	140	139	279
豆酸浜町	118	102	122	224	島山	14	18	16	34
浅藻	80	66	63	129	大船越本町	92	93	116	209
豆酸瀬	26	36	27	63	浦崎	86	111	111	222
佐須瀬	28	40	40	80	中浜	70	84	91	175
阿連	102	133	131	264	平瀬原	50	60	59	119
小茂田	61	83	80	163	緒方	47	57	63	120
小茂田浜	31	35	42	77	久須保	72	86	98	184
下原	60	58	73	131	女護島	36	43	40	83
床谷	43	49	42	91	犬吠	61	85	83	168
日掛	17	17	23	40	玉調	15	15	16	31
上山	18	23	30	53	大山	40	46	48	94
檜根	25	30	26	56	小船越	73	86	97	183
椎根浜	7	11	7	18	芦浦	71	73	66	139
椎根	52	55	71	126	賀谷	100	99	108	207
上槻	35	28	40	68	濃部	30	40	42	82
久根田舎	57	64	67	131	元鴨居瀬	47	42	47	89
久根浜	52	64	68	132	新鴨居瀬	27	26	23	49
合計	5,906	5,950	5,977	11,927	長手	41	39	39	78
					細浦飛渡	46	45	46	91

地区名	世帯数	人口 (男)	人口 (女)	人口計	地区名	世帯数	人口 (男)	人口 (女)	人口計
鴨居瀬住吉	20	19	16	35	合計	993	1,036	1,093	2,129
赤島	29	30	20	50					
合計	3,343	3,743	3,978	7,720	上県町				
					松ヶ崎	41	31	36	67
豊玉町					浜町	15	20	14	34
仁位	493	534	576	1,110	土井奈	37	38	32	70
佐志賀	20	27	29	56	本元町	32	31	41	72
嵯峨	20	19	21	40	上町	69	62	66	128
貝鮒	12	13	11	24	下町	26	26	27	53
糸瀬	12	22	18	40	太鼓町	87	109	115	224
和板	83	70	58	128	三軒屋	85	79	81	160
横浦	38	43	41	84	大地	39	38	38	76
塩浜	47	47	54	101	西津屋	23	20	25	45
見世浦	34	37	43	80	特養	23	11	12	23
鍵川	37	40	36	76	深山	35	37	42	79
千尋藻	110	144	161	305	恵古	53	45	55	100
曾	73	87	77	164	仁田ノ内	59	59	51	110
位之端	58	69	76	145	中山	7	5	8	13
卯麦	41	43	45	88	井口	30	22	34	56
佐保	37	45	41	86	友谷	37	48	53	101
貝口	19	14	19	33	湊	72	78	81	159
東加藤	38	42	33	75	志多留	39	32	38	70
水崎	68	80	86	166	田ノ浜	10	11	10	21
加志々	36	30	40	70	伊奈	71	59	53	112
唐洲	39	50	55	105	越高	23	28	26	54
廻	42	48	56	104	御園	39	58	54	112
志多浦	18	29	20	49	犬ヶ浦	48	58	72	130
大綱	40	43	37	80	檜滝	109	127	127	254
小綱	54	49	51	100	越ノ坂	22	24	32	56
銘	15	10	17	27	瀬田一区	64	67	77	144
田	66	67	85	152	瀬田二区	66	72	69	141
合計	1,550	1,702	1,786	3,488	飼所	88	88	107	195
					鹿見	98	95	97	192
峰町					久原	52	61	69	130
三根上	71	70	78	148	女連	60	62	58	120
三根下	149	121	148	269	合計	1,559	1,601	1,700	3,301
三根浜	69	90	82	172					
津柳	20	24	18	42	上対馬町				
青海	19	26	16	42	河内	41	41	58	99
木坂	22	21	21	42	大浦	98	100	79	179
狩尾	39	52	43	95	鰐浦	133	152	77	229
賀佐	7	5	13	18	豊	151	196	169	365
吉田	58	61	76	137	泉	135	135	164	299
櫛	76	111	103	214	西泊	88	96	111	207
佐賀	296	287	307	594	古里	182	201	207	408
志多賀	141	136	152	288	比田勝	423	430	469	899
志越	26	32	36	68	網代	41	45	47	92

地区名	世帯数	人口 (男)	人口 (女)	人口計	地区名	世帯数	人口 (男)	人口 (女)	人口計
富浦	10	10	12	22	五根緒	24	22	21	43
津和	5	4	6	10	茂木	4	4	3	7
唐舟志	25	26	35	61	琴	123	121	139	260
浜久須	36	37	35	72	芦見	50	45	45	90
玖須	47	23	37	60	一重	74	51	73	124
大增	44	43	51	94	小鹿	100	96	110	206
舟志	61	55	73	128	合計	1,895	1,933	2,021	3,954

住民基本台帳

4. 就業構造人口

(1) 概要

対馬の就業者数は、15,507人（平成22年国勢調査）である。

就業構造は、第3次産業が一番大きく65.9%、続いて第1次産業の21.6%、第2次産業の12.3%となっている。

第4-6表 就業人口（15歳人口以上）

（平22.10.1、単位：人、%）

		巖原町	美津島町	豊玉町	峰町	上県町	上対馬町	対馬計	構成比	県計	構成比
15歳以上人口総数		10,772	6,611	3,279	2,026	3,070	3,812	29,570		1,226,706	
就業者総数		5,798	3,474	1,726	996	1,520	1,993	15,507	100	650,972	100
第1次	農業	218	74	61	79	113	40	585	3.8	38,267	5.9
	林業	94	22	9	11	16	21	173	1.1	681	0.1
	漁業	431	773	537	230	240	388	2,599	16.8	12,747	2.0
	計	743	869	607	320	369	449	3,357	21.6	51,695	7.9
第2次	鉱業	8	1	-	-	-	-	9	0.1	298	0.0
	建設業	480	252	134	118	257	150	1,391	9.0	54,210	8.3
	製造業	150	146	44	44	60	66	510	3.3	72,675	11.2
	計	638	399	178	162	317	216	1,910	12.3	127,183	19.5
第3次	電気・ガス・熱供給・水道業	35	6	19	1	5	1	67	0.4	3,083	0.5
	情報通信業	30	19	8	2	1	-	60	0.4	6,225	1.0
	運輸、郵便業	289	135	56	27	44	84	635	4.1	30,976	4.8
	卸売・小売業	900	546	188	139	187	269	2,229	14.4	105,580	16.2
	金融・保険業	97	34	19	7	5	15	177	1.1	15,789	2.4
	不動産、物品賃貸業	56	18	4	1	3	1	83	0.5	7,368	1.1
	学術研究、専門・技術サービス業	72	39	19	5	19	17	171	1.1	14,972	2.3
	宿泊、飲食サービス業	406	213	63	37	35	99	853	5.5	38,987	6.0
	生活関連サービス、娯楽業	191	112	47	25	48	52	475	3.1	24,543	3.8
	医療、福祉	627	456	165	106	202	259	1,815	11.7	96,264	14.8
	教育、学習支援業	296	192	123	46	70	102	829	5.3	30,750	4.7
	複合サービス事業	108	100	64	33	31	62	398	2.6	6,555	1.0
	サービス業(他に分類されないもの)	284	148	72	40	85	73	702	4.5	34,153	5.2
	公務(他に分類されるものを除く)	1,014	184	94	45	99	293	1,729	11.1	35,512	5.5
計	4,405	2,202	941	514	834	1,327	10,223	65.9	450,757	69.2	
分類不能の産業		12	4	-	-	-	1	17	0.1	21,337	3.3

国勢調査

対馬の就業構造の特徴として、次の事項があげられる。

- (ア) 第1次産業の構成比が21.6%と高く、その中でも漁業が、その77.4%を占める。これは、漁業が対馬の基幹産業であることを意味している。一方、農業は県計を下回っている。
- (イ) 林業は、構成比においては1.1%と低いものの、就業者数は、県計の25.4%を占めている。
- (ウ) 第2次産業の構成比が県計に比べ大きく下回るなかで、建設業については、0.7ポイント上回っている。これは、離島振興法等の地域特別措置法により、公共事業支出が大きいことが影響している。一方、製造業の構成比はかなり低い。
- (エ) 第3次産業が県計に比べ3.3ポイント低いなかで、公務の構成比が県計の2.02倍と高い。これは、対馬に国、県の地方機関が多いためである。

(2) 推移

就業者総数は、平成7年から徐々に減少している。

就業構造では、第1次産業が引き続き減少傾向にあり、第2次産業は昭和60年以後増加していたが、平成12年に減少に転じている。第3次産業も昭和60年以後増加傾向にあったが、平成17年には減少している。

第4-7表 就業構造の推移

(単位：人、%)

就業者総数			平成12			平成17			平成22		
			20,219	構成比		18,066	構成比		15,507	構成比	
				対馬	県		対馬	県		対馬	県
第一次	農業	712	3.5	6.7	667	3.7	6.7	585	3.8	5.9	
	林業	128	0.6	0.1	79	0.4	0.1	173	1.1	0.1	
	漁業	3,992	19.7	2.8	3,060	16.9	2.3	2,599	16.8	2.0	
	計	4,832	23.9	9.6	3,806	21.1	9.1	3,357	21.6	7.9	
第二次	鉱業	51	0.3	0.3	27	0.1	0.1	9	0.1	0.0	
	建設業	2,963	14.7	11.5	2,411	13.3	9.9	1,391	9.0	8.3	
	製造業	951	4.7	11.9	533	3.0	10.7	510	3.3	11.2	
	計	3,965	19.6	23.6	2,971	16.4	20.7	1,910	12.3	19.5	
第三次	電気・ガス・熱供給・水道業	87	0.4	0.6	62	0.3	0.5	67	0.4	0.5	
	情報通信業	-	-	-	70	0.4	1.0	60	0.4	1.0	
	運輸、郵便業	894	4.4	5.6	532	2.9	4.4	635	4.1	4.8	
	卸売・小売業	3,577	17.7	22.5	2,708	15.0	18.3	2,229	14.4	16.2	
	金融・保険業	290	1.4	2.5	261	1.4	2.5	177	1.1	2.4	
	不動産、物品賃貸業	29	0.1	0.6	42	0.2	0.7	83	0.5	1.1	
	学術研究、専門・技術サービス業	-	-	-	-	-	-	171	1.1	2.3	
	宿泊、飲食サービス業	-	-	-	879	4.9	5.4	853	5.5	6.0	
	生活関連サービス、娯楽業	-	-	-	-	-	-	475	3.1	3.8	
	医療、福祉	-	-	-	1,685	9.3	12.6	1,815	11.7	14.8	
	教育、学習支援業	-	-	-	872	4.8	4.7	829	5.3	4.7	
	複合サービス事業	-	-	-	622	3.4	1.5	398	2.6	1.0	
	サービス業(他に分類されないもの)	4,496	22.2	29.3	1,733	9.6	12.6	702	4.5	5.2	
	公務(他に分類されるものを除く)	2,046	10.1	5.3	1,800	10.0	5.5	1,729	11.1	5.5	
	計	11,419	56.5	66.4	11,266	62.4	69.7	10,223	65.9	69.2	
分類不能の産業		3	0.0	0.4	23	0.1	0.5	17	0.1	3.3	

国勢調査

(注)第三次産業の分類科目で平成12の「-」は、平成17・平成22に分類科目が増加しているもので、このうち「情報通信業」は「運輸、郵便業」に、「飲食店、宿泊業」は「卸売・小売業」に、「医療、福祉」、「教育、学習支援事業」、「複合サービス業」は「サービス業」にそれぞれ含めている。

対馬においては、従来第1次産業の構成比が第1位であったが、昭和50年国勢調査で、第3次産業が第1位になりその差は拡大を続けている。

業種別の推移状況は、次のとおりである。

(ア) 農業は昭和45年(4,757人)から平成22年までの40年間に8分の1程度に落ち込み、なおも減少を続けている。対馬の農業は、就業者数において昭和30年までは、漁業を上回っていた。しかし、対馬の農地はもとも地力が弱く、高度成長期にはいると若年労働者の島外転出等により農業就業者は激減し、その減少傾向は未だ歯止めがかかっていない。

(イ) 林業は、平成17年まで一貫して減少を続けていたが、平成22年で再び増加に転じている。

(ウ) 漁業は減少傾向にあるものの、なお業種別ではトップの位置を占めており、対馬の基幹産業としての地位を保っている。

第3節 島内総生産

1. 概要

平成24年度の対馬の島内総生産は、994億57百万円で、県の総生産4兆4,033億85百万円の2.3%を占めている。

2. 産業別総生産

平成24年度の対馬の^(注)総生産額994億57百万円は、前年度に比べると1.4%の減となった。

この産業別総生産を平成22年度からの推移でみると、第4-8表のとおりである。

第4-8表 産業別総生産額（対馬）

（単位：百万円、%）

産業	年度	対前年度比				構成比			
		平成22	平成23	平成24	県計	平成22	平成23	平成24	県計
総額		96.6	100.9	98.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
産	業	95.9	101.3	97.6	100.4	72.8	73.1	72.4	81.4
農	業	107.7	99.8	98.2	99.8	0.4	0.4	0.4	1.6
林	業	92.5	99.1	103.8	97.3	0.4	0.4	0.5	0.1
水産	業	99.1	106.1	83.4	108.0	5.7	6.0	5.0	0.9
鉱	業	96.8	114.0	92.0	99.9	0.1	0.1	0.1	0.1
製造	業	77.3	128.6	64.7	106.3	1.8	2.3	1.5	12.8
建設	業	75.1	98.5	102.4	91.7	7.5	7.3	7.6	5.4
電気・ガス・水道	業	95.8	91.1	85.4	114.9	3.8	3.4	2.9	2.4
卸売・小売	業	99.6	104.2	97.4	102.6	9.1	9.4	9.3	10.8
金融・保険	業	96.8	95.7	97.5	100.8	2.4	2.2	2.2	3.5
不動産	業	100.6	100.3	102.3	97.4	13.1	13.0	13.5	13.4
運輸	業	102.0	101.6	100.5	100.7	7.0	7.0	7.2	5.0
情報通信	業	98.3	97.0	99.7	100.1	3.0	2.8	2.9	2.9
サービス	業	100.4	100.9	102.0	98.2	18.6	18.6	19.2	22.6
政府サービス	業	97.6	99.4	100.4	99.7	25.4	25.0	25.5	13.8
電気・ガス・水道	業	100.6	115.4	97.3	102.5	0.5	0.6	0.6	0.9
サービス	業	98.3	96.6	98.6	100.8	7.8	7.5	7.5	4.5
公務		97.2	100.2	101.3	98.8	17.1	17.0	17.4	8.4
対家計民間非営利サービス生産者		106.5	110.2	106.2	95.5	2.1	2.3	2.5	4.0
小計		96.5	101.0	98.5	100.1	100.3	100.4	100.4	99.2
帰属利子（控除）		78.4	138.0	83.8	88.3	-0.3	-0.4	-0.4	0.8

年度 産業	総生産				
	平成 22	平成 23	平成 24 (A)	県計 (B)	(A) / (B)
総額	100,001	100,878	99,457	4,403,385	2.3
産 業	72,804	73,733	72,000	3,585,189	2.0
農 業	447	446	438	70,434	0.6
林 業	446	442	459	2,960	15.5
水 産 業	5,666	6,014	5,013	40,117	12.5
鉱 業	121	138	127	4,888	2.6
製 造 業	1,778	2,286	1,479	562,573	0.3
建 設 業	7,499	7,389	7,568	238,439	3.2
電気・ガス・水道業	3,764	3,429	2,930	107,535	2.7
卸売・小売業	9,093	9,478	9,231	475,458	1.9
金融・保険業	2,358	2,256	2,199	153,402	1.4
不動産業	13,102	13,139	13,436	589,867	2.3
運 輸 業	6,976	7,088	7,124	220,151	3.2
情報通信業	2,964	2,874	2,864	125,741	2.3
サービス業	18,589	18,755	19,133	993,624	1.9
政府サービス業	25,410	25,260	25,360	607,594	4.2
電気・ガス・水道業	513	592	576	40,065	1.4
サービス業	7,817	7,551	7,442	198,540	3.7
公 務	17,080	17,118	17,342	368,989	4.7
対家計民間非営利サービス生産者	2,096	2,310	2,453	175,509	1.4
小 計	100,310	101,303	99,813	4,368,293	2.3
帰属利子（控除）	-308	-425	-356	35,091	-1.0

平成 24 年度版「長崎県の市町民経済計算」

(注) 総生産額とは、産出額から原材料などの中間投入額を控除したもので、新たに生まれた付加価値をいう。

(1) 対馬の総生産額に占める各産業の構成比は、昭和 61 年度に建設業が水産業を抜き 1 位となった。しかし、その後低下傾向にあり、平成 16 年度からサービス業が建設業を抜き 1 位となっている。

平成 24 年度の構成比の順位は、サービス業 (19.2%)、公務 (17.4%) の順となっており、公務は、平成 17 年度に建設業を抜き、以降 2 位のシェアとなっている。

(2) 対馬の各産業の県計に占めるシェアでは、林業が 15.5% と 1 位を占めており、近年、生産額が低迷しているものの、しいたけ栽培をはじめとする林業は、対馬の産業の特色であるといえる。

一方、平成 24 年度の 1 人当たりの所得は、第 4 - 9 表のとおりであり、市郡別では県内 9 位である。

第4-9表 平成24年度市郡別市町村民所得の比較

区 分	市町村民所得		人 口		一人当たり所得額	
	所得額 (百万円)	構成 比	(人)	構成 比	所得額 (千円)	指数 県=100
県 計	3,378,853	100.0	1,407,904	100.0	2,400	100.0
市 計	3,025,279	89.5	1,259,591	89.5	2,402	100.1
長崎市	1,108,813	32.8	439,016	31.2	2,526	105.2
佐世保市	613,829	18.2	258,520	18.4	2,374	98.9
島原市	99,373	2.9	46,817	3.3	2,123	88.4
諫早市	340,580	10.1	139,901	9.9	2,434	101.4
大村市	220,068	6.5	91,433	6.5	2,407	100.3
平戸市	72,970	2.2	33,604	2.4	2,171	90.5
松浦市	54,320	1.6	24,492	1.7	2,218	92.4
対馬市	75,171	2.2	33,059	2.3	2,274	94.7
壱岐市	58,449	1.7	28,335	2.0	2,063	86.0
五島市	82,156	2.4	39,236	2.8	2,094	87.2
西海市	114,888	3.4	30,331	2.2	3,788	157.8
雲仙市	89,806	2.7	45,953	3.3	1,954	81.4
南島原市	94,855	2.8	48,894	3.5	1,940	80.8
郡 部 計	353,574	10.5	148,313	10.5	2,384	99.3
西彼杵郡	179,883	5.3	72,626	5.2	2,477	103.2
東彼杵郡	80,560	2.4	38,091	2.7	2,115	88.1
北松浦郡	41,120	1.2	16,438	1.2	2,502	104.3
南松浦郡	52,011	1.5	21,158	1.5	2,458	102.4

平成24年度版「長崎県の市町民経済計算」